

まちという名の家族

【問い合わせ】
町子育て支援センター「スキップ」 ☎ 72-1280



育児サークル「まめっこ」主催 クリスマスを楽しもう

育児サークル「まめっこ」主催のクリスマス会が12月15日、総合福祉センター「しゃるる」で開かれました。一足先にクリスマスを楽しもうと親子14組30人が来場。会員による本の読み聞かせのほか、地域おこし協力隊で音楽活動も行っている西村さやか隊員が「あわてんぼうのサンタクロース」「ジングルベル」などの楽曲を披露し、子どもたちはピアノのリズムに合わせて楽器を鳴らしたり踊ったりするなど笑顔で楽しく過ごしました。



育児サークル「まめっこ」

友だちづくり、情報交換、色々な体験させてあげたい...というママたちの思いから誕生しました。13年目を迎えた現在約70人が会員登録し、ママも子どもも笑顔いっぱい、親子で楽しい時間を過ごしています。毎月第3木曜日に活動中！
※問い合わせはスキップまで！



会員 山本 真由さん
いっくん(3才) ふたばちゃん(9ヶ月)

親子にとって貴重な繋がりのお話 interview

町外出身で知り合いの少ない私たちでしたが、活動を通してたくさんのお友達ができました。活動の際、いつも子どもたちは楽しそうに過ごしていて、私も会員さんやスキップの先生たちにアドバイスやサポートもいただいている、とても助かっています。「まめっこ」は、親子にとっては、家ではできない貴重な体験をすることができる場だと感じています。ぜひ多くの方に会員として、参加して欲しいです。

栗山学び隊 Vol.31

介護福祉学校と栗山高校に通う皆さんの様子をお届けします

この学校に入学して本当によかった

山本 かなさん (北海道介護福祉学校 2年)

岩見沢市出身の山本さん。岩見沢農業高校在学中は、高卒で地元の福祉施設への就職を希望していましたが、施設職員さんから「栗山にある介護学校で専門的なことを学んでから一緒に働かないか」と背中を押され入学を決めました。「進路が決まったのは12月でした。すごくバタバタでしたね」とお茶目に語ります。

「進学して本当によかった」と話しており、同級生との日常や施設での実習など、これまでの学びに手応えを感じているとのこと。

先日、就職活動を終え、約束の施設で働くことが決まった山本さん。「介護福祉士になるための国家資格試験が1月にあります。全力で臨みたいです」と笑顔で話していました。



SNSを通じて学校の魅力を伝えたい

北上 麻衣さん (栗山高等学校 2年)

今年度、生徒会長となった北上さん。「生徒の代表として前に立つ姿に憧れていました。今では楽しくてずっと続けていきたいです」と胸を躍らせています。

生徒会では『栗高改革』をテーマに、インスタグラムを活用した情報発信に力を入れているとのこと。「生徒の全国募集が始まるので、高校の様子を誰もが見



仕事に取り組む北上さん。「インスタでは皆さんからの質問やメッセージも受け付けています！」と笑顔で話します

れる場を作ろうと開設しました。多くの魅力を発信したいです」と話します。

生徒会のほか、バドミントン部や吹奏楽部の活動も行っている北上さん。「大変という認識はありません。生徒会も部活も、やったことが形になるのが楽しいです。これからもいろいろなことを頑張ります」と力強く話していました。